データフォーマットについて

扱うデータのフォーマットは、全て共通です（csv型式）。

項目（表現については独断です）

計測年月日，計測時間，屋外温度，最高屋外温度，最低屋外温度，降雨量（カウント数），時間降雨量(カウント／時間)，気圧，日射量，パケット数（ISS 間通信），屋内温度，屋内湿度，屋外湿度，平均風速，最高風速，最高風速時の風向，風向(平均)，
平均紫外線指数，蒸発散量，最高日射量，最高紫外線指数，予報（US における指数），※木の葉温度0，※木の葉温度1，※木の葉湿り気0，※木の葉湿り気1，※土壌温度0，※土壌温度1，※土壌温度2，※土壌温度3，バージョン，※拡張湿度センサ0，
※拡張湿度センサ1，※拡張温度センサ0，※拡張温度センサ1，※拡張温度センサ2，※土壌水分センサ0，※土壌水分センサ1，※土壌水分センサ2，※土壌水分センサ3，送信年月日（HARUTOⅢで押されたスタンプ），送信時間（HARUTOⅢで押されたスタンプ）

平均、最低、最高の付く項目は，その設定された計測インターバル間における平均、そして最低と最高を意味します。
風向は、16方位　N＝0　NNE＝1　NE＝2　・・・NNW=15　で表されます。
雨量関係のカウント数に対する実数は、転倒升メトリックアダプタと設定で異なります。
ケーブル式モデルのデフォルトは、0．01インチ（0．2mmに交換するように説明されています）、jpモデルは、デフォルトで0．2mmに設定されています。
※が付いた項目は，ワイヤレス式モデル／jpモデルのみに対応できるオプションセンサ項目です。
パケット数（ISS間通信）の項目も、ケーブル式モデルの場合は、管理の必要がない項目です。

項目最後の日時スタンプは、HARUTOⅢで押されたもので、それ以外は全てDavisの側で作られたデータです。
余談かも知れませんが、予報行為は、気象業務法の定めにより、計測は気象庁検定品を使用し、気象予報士の資格を持つ者にしか認められておりません。

下段は、1 時間に 1 回転送されるファイル／10 分毎の計測値6レコードの例です。

年/月/日	時間	屋外温	最高屋	最低屋	降雨量	時間降	気圧(hP	日射量	パ	屋内温	屋内湿	屋外湿	平均風	最高風	風向	風向	平均紫	蒸発散	最高日	最高紫	予	葉	葉	葉	葉	土	土	土	土	記	拡	拡	拡	拡	拡	土	土	土	土	年月日(YY	時間(H
2011/2/27	16:10	13.9	14.2	13.9	0	0	1015.7	90	##	25.3	26	61	2.4	3.6	6	6	255	0	110	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	20110227	1700
2011/2/27	16:20	13.9	14.2	13.9	0	0	1015.7	82	##	25.3	26	61	2.2	3.6	6	6	255	0	106	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	20110227	1700
2011/2/27	16:30	14	14	13.9	0	0	1015.6	116	##	25.2	26	62	0.9	3.1	5	5	255	0	130	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	20110227	1700
2011/2/27	16:40	13.9	14	13.9	0	0	1015.6	92	##	25.2	25	62	1.3	2.7	6	6	255	0	102	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	20110227	1700
2011/2/27	16:50	14	14	13.9	0	0	1015.3	65	##	25.2	26	63	1.3	2.7	6	5	255	0	84	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	0	#	#	#	#	#	#	#	#	#	20110227	1700